

令和 5 年度第 2 回堺市中区政策会議 会議録

日時：令和 6 年 2 月 13 日 19 時 00 分から 21 時 00 分まで

場所：堺市 中区役所 4 階 大会議室

出席者：【構成員】（敬称略）伊藤久美子、今西千晶、太田佳世、金澤正巳、澤本美奈子、
静又三、竹井進、田重田勝一郎、巽真理子、谷村修、仲氏昌平、中辻さつ
子、松居勇、森田裕之、梶原愛未、桂恵輔、小西響、堤朋子、真栄田愛花
（以上 19 人出席）

【事務局】影山誠（区長）、藤川記代（副区長）、名越賢治（深井駅周辺地域活性化推進室長）、岡本知樹（深井駅周辺地域活性化推進室主幹）、阿部勝彦（自治推進課長）、長谷英俊（自治推進課長補佐）、竹内秀和（企画総務課長）、重谷憲治（企画総務課長補佐）、東克巳（企画総務課主幹）、川元慎平（企画総務課企画係長）、神楽所千花代（企画総務課副主査）

1 開会

○司会（東） 会議開催に先立ちまして、配付資料の確認をお願いします。

議事次第の下に配付資料一覧を記載しています。

足りない資料がないか確認願います。

資料はお揃いでしょうか。

傍聴にお越しいただいております皆様へお知らせします。

傍聴にあたりましては、受付の際にご案内いたしました堺市懇話会の傍聴に関する要綱を遵守いただき、発言については固くご遠慮いただきますようお願いいたします。

また、あわせてアンケート用紙も添付しておりますので、中区政策会議の会議について、ご意見ご感想がありましたら、そちらへご記入願います。いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。

なお、この会議は公開で実施しております。事務局において、中区長 X（旧）Twitter への掲載等のため、写真撮影や録音を行っていますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、ただいまから令和 5 年度第 2 回、堺市中区政策会議を開催させていただきます。

私は本日の司会を務めさせていただきます中区役所企画総務課の東と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは次第に従いまして、順に進めさせていただきます。

まず開会にあたりまして、中区長の影山よりご挨拶を申し上げます。

2 中区长挨拶

○中区长（影山） 皆さんこんばんは。

大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

また、平素より区政の推進にご協力を賜りまして、本当にありがとうございます。

はじめに、中区役所の生活保護の一連の事案についてでございますが、昨年末に第三者検証委員会からの報告が堺市にございました。

その中で、中区役所の不適切な対応が複数指摘されておりまして、大変重く受け止めております。

市民、区民の皆様、そして、今、こちらにおられる皆様に、多大なご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今、区役所一丸となって、改善策に取り組んでおりますので、引き続き皆様からのご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。

それでは、今回の区政策会議についてでございますが、第 1 回の会議におきましては「誰もが安心して子育てができる中区役所をめざして」をテーマに、皆様から多くの意見をいただきました。

本当にありがとうございます。

おかげをもちまして、これから始まる 2 月議会におきまして、誰でもトイレへのオムツ台の設置と授乳室の設置などについて次年度予算要求案に反映しております。どうも、ありがとうございました。

また、皆様から頂いたご意見の実現に向けて引き続き取り組んでいきますので、ご報告させていただきたいと思います。

そして、本日第 2 回目の会議では、「深井駅周辺地域の活性化について」をテーマに、皆様から多様な視点で様々なご意見をいただければと考えております。

昨年末に、水賀池公園整備優先交渉権者が決定しました。

中区の、新たなシンボルにふさわしい良い提案をいただいたと考えております。

まずは、水賀池公園の整備を円滑に進めまして、令和 9 年度の早期オープンに向け、私どもも全力で取り組みを進めてまいりたいと考えております。

その中で、この施設を、地域のにぎわいに資する形で活用していけるかが一番重要であると考えております。本日いただいたご意見を一つでも多く反映できるように取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

また、本日は水賀池公園だけでなく、深井駅周辺地域全体の活性化について、皆様からご意見をいただきたいと考えております。

深井駅を中心に、水賀池公園、そして、駅の反対側の西側に府営八田荘住宅の建替えが今進んでおり、それに伴いまして広大な活用地が生まれてまいります。私どもは、深井駅を中心に水賀池公園、それと反対側の活用地を連携して繋げていくことが深井駅周辺の活性化に繋がる最も重要なことだと考えております。

本日は、皆様から様々な意見をいただきまして深井駅周辺地域の活性化に繋げていきたいと考えてお

りますので、厳しい意見も含めて本日は皆様から活発な意見がいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（東） 本日の構成員の出欠についてですが、脇田構成員、溝下構成員、山口構成員の 3 名におかれましては、所用のため欠席というご連絡をいただいております。

それでは、ここからの会議につきましては、森田座長に進行をお願いしたいと思います。

では、森田座長よろしくお願いいたします。

3 議事

○森田座長 はい、皆さんこんばんは。

座長をさせていただき森田でございます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと存じます。次第 3 議事深井駅周辺地域の活性化についてでございます。

まずは今回の議事の設定理由について説明をお願いします。

○名越室長 深井駅周辺地域活性化推進室長の名越と申します。

先ほど区長からも、幅広いご意見をいただきたい議事の設定については説明があったところでございますが、配布資料の方も含めまして説明させていただきます。

深井駅周辺地域は、泉北高速鉄道の開業以来、都市機能の集積が進み、地域拠点としての機能を充実してまいりましたが、開業から約半世紀が経ち、人口減少や高齢化など、社会情勢が変化したことにより、地域の魅力は徐々に失われ、深井駅周辺地域の活性化は喫緊の課題となっています。

このような状況の中、中区では令和 3 年 3 月策定の中区地域計画を踏まえ、令和 4 年 1 月に深井駅周辺地域活性化事業基本構想、同年 12 月には水賀池公園整備基本計画を作成いたしました。

昨年度の中区政策会議では、水賀池公園の再整備についてご意見をいただき、意見交換を行っていただきましたが、今回は視点を広げ率直なご意見を事前に頂戴いたしました。

資料 1 につきましては、深井駅周辺地域活性化推進事業基本構想の概要版でございます。Q1 は、この基本構想でも列挙していますが、深井駅周辺を活性化するにあたっての現状の課題についてご自由な意見をお聞かせいただくものでございます。

また、次の Q2 でございますが、中区およびその周辺の地域資源と我々が考えている、例えば文化施設であるソフィア・堺、運動公園である原池公園、史跡の土塔、伝統産業の注染の集積地や大学、百舌鳥古墳群などの地域資源の魅力を、何とか深井駅周辺地域のにぎわいに繋げたいと、そのアイデアについてお聞かせいただくこととなります。

資料 2 につきましては、水賀池公園整備基本計画の概要版でございます。

資料 3 につきましては、昨年 5 月に事業者公募を開始し、12 月に事業者候補となる優先交渉権者グループを選定いたしました提案の概要書になってございます。

Q3 につきましては、これらの資料を参考にさせていただいて、水賀池公園がこの提案により整備されての活用といえますか、ソフト的に水賀池公園、深井駅周辺地域のにぎわいに繋げていくアイデアについて、ご自由なご意見をお聞かせいただくものでございます。

資料 4 につきましては水賀池公園と深井駅を挟んで、反対側の西側に位置する大阪府営八田荘住宅について簡単にお示したものです。この八田荘住宅では建替え事業が進められておりまして、地震に強い住宅に建て替えられます。建替えに併せて高層化し、集約することで、活用地が生まれ出されます。

資料の 2 ページ目、3 ページ目は、平成 24 年度に、大阪府と堺市の両者で策定された大阪府営八田荘住宅まちづくり基本構想の抜粋となります。

深井駅周辺地域活性化の議論前の策定ですので、活性化に関する記載はありませんが、多様な世代が暮らす活力と魅力ある住環境づくりという掲げられた基本理念は、深井駅周辺地域活性化事業基本構想にも則しているところでございます。

4 ページ目は、深井駅周辺地域活性化事業基本構想本編からの抜粋でございます。

府営八田荘住宅の活用を、深井駅を中心とした東西の人の流れの誘引に繋がりたいと考えております。

Q4 では、深井駅と水賀池公園そして活用を連携し、にぎわいに繋げていくことについて、何が重要だと思われるかというご意見と、その観点から、活用地に立地できれば良いなと思うものについてご意見をお伺いしたいものでございます。

活発な意見交換を行っていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

以上簡単ではございますが、議事の設定についてのご説明をさせていただきました。

○森田座長 ありがとうございます。

はい、ただいま議事の設定理由についてご説明いただきました。

それでは次に、先日開催されました学生部会について事務局より概要を説明していただきたいと思っております。

○事務局（川元） 学生部会の概要について説明させていただきます。

政策会議を最初に始めたときに、学生さんがなかなか地域の方々の中に混ざって、いきなり話をする、意見を言うのは難しいのかなというお話がありまして、先に学生さんだけで事務局と一緒に話をさせていただいて、意見を形成する助けとする学生部会を開催させていただく運びとなりました。

今回につきましても、事前に学生さんと事務局とでお話をさせてもらって、意見をまとめていただいておりますので、それについて発表の方をしていただきたいと思います。

以上になります。

○森田座長 はい。

それではですね、1 月 17 日に開催されました学生部会に参加していただいた学生の 1 人である小西構成員に意見交換をした内容について報告してもらおうと思っております。

では小西さん、よろしくお願いします。

○小西構成員 大阪公立大学農学部の小西響と申します。

先日開催されました学生部会において、参加学生で話し合った内容について報告させていただきます。

資料 6、令和 5 年度第 2 回中区政策会議学生部会報告をお手元にご用意ください。

まず、Q1 の質問の深井駅周辺の課題については、おもに四つの意見が出ました。

一つ目は、深井駅周辺の魅力や地域資源の歴史、その背景などが十分に市民や市外の方に伝わっていないこと、二つ目が、長い時間を過ごすことができるカフェなどのスペースが不足していること。三つ目が、水賀池公園は、ファストフードの袋やたばこの吸殻などが植え込みに捨てられていることが多く、景観が良くないこと、最後に何かしたいなとなっても近場でご飯であれば中百舌鳥、買い物であれば北花田や大阪市内まで出て行けばいいとなり、深井にわざわざ行くこととなる動機づけがないということです。

特にこの四つ目は、大学生を送っていて感じるのですが、大学キャンパスの立地的に中百舌鳥駅まで出て大阪市内に向かうのが容易なため、何か理由がないと深井方面には向かいません。

せっかく多くの大学生を有するキャンパスが近くにあるので、何とか公立大学から人を引っ張ってきて、にぎわいに繋げるようなことが必要だと思います。

次に、二つ目の質問の地域資源をにぎわいに繋げるには、についてです。

まずは地域資源同士が少し離れており、それぞれには人が訪れるものの、どこかの地域資源に行った後、そのまま次へ向かえるといった繋がりが現状少ないというふうにお聞きしました。その解決策として、年齢を問わず楽しめる謎解きイベントなどを開催し、複数の地域資源を周遊してもらうのが良いという意見が複数出ました。

そして謎解きイベントだと、開催時のみになってしまうので、常設型のクイズラリーやポイントラリーを設置することで、常時楽しみながら地域資源を回っていただけるのではないかと意見も出ました。

また、周遊の手段については普段だと素通りをしてしまう地域の細かい部分を見てもらえるので、徒歩がいいといった意見や、少し距離が離れており、堺市は自転車の街でもあるので、自転車を活用するのが良いといった意見もありました。

次に、地域資源として古墳なども近くにあるという話でしたが、古墳を見るだけでは大きな森を見ると大差ないので、何度も来ていただくことができないのではないかと考えました。その解決策として、茨城県の旅館の女将さんたちが、女将カードというものを作って配り、話題になったことがありました。それと同様に、古墳カードのようなものを作ってランダムに封入して配ることで、コレクターや古墳マニアを呼ぶことが出来るのではないかと考えました。

そして三つ目に、大阪公立大学と連携し、地域について学ぶ授業の一環として深井駅を訪れ、フィールドワークを行うことで、公立大学生が訪れ地域を知り、フィールドワーク後に現地解散すれば、そこでご飯を食べたり、遊んで帰ったりすることができるのではないかと考えます。

続いて四つ目ですが、大学生は、自分で授業を選択してカリキュラムを組む関係で、ぽっかり時間が空くこともあります。

また大学院生は研究室にこもりきりで、運動不足になる、気分転換がうまくいかないこともあります。そう

いう際に、隙間時間に活用できる地域資源を回るランニングコースやサイクリングコースが整備されていれば、利用することができるのではないかという意見がありました。

最後に、情報発信においては SNS での話題作りが最も効果的だと思います。かといって狙ってできるものではありません。同じ内容を発信していても発信する人によっては情報の価値が大きく変わると考えるため、芸能人への情報発信依頼やコストを抑えるなら、大阪公立大学内のフォロワーが多い有名な人に情報発信をしてもらうのが良いという意見が出ました。

続いて三つ目の質問の水賀池公園にできる施設をにぎわいに繋げるには、に進みます。

ここではクリスマスなどに、駅から施設を繋ぐ道路でイルミネーションを実施すれば自然と施設へ誘導できるのではないかといった意見や、野外ステージでの音楽イベントを開催すること、周辺の複数店舗で連携し、2 店舗を訪れると 10%OFF、3 店舗を訪れると景品をプレゼントなどの共通クーポンを発行する。マルシェや農作物の直売所、朝市などを開催するといった意見が出ました。

最後に四つ目の質問。

八田荘住宅建替えに伴う活用地にあればいいものについては、近隣に住まわれる方のニーズに応えられる施設と、新たに若者世代を呼び込む施設の二つの観点から意見が出ました。

前者については、福祉施設や病院、地域住民が交流できる場所、後者については、カフェやスイーツなどの飲食店になるが、近隣にあるものでは、外から人を呼び込めないのも、関西初出店のお店や、少し珍しい専門店などが良いという意見が出ました。

以上で学生会の報告となります。

○森田座長 はい。小西さん、報告ありがとうございました。

では構成員の皆様から、それぞれたくさんのご意見、ご提案をいただいて、その内容については資料 5 で、今学生さんが発表していただいたものは資料 6 に載っております。

これらの内容をご覧くださいまして、新たなご意見やご発言をお願いしたいと思います。

クエスチョンが四つございまして、今からおよそ時間が 80 分程度でございます。

ちょっと分けて議論した方がいいかなと思いますので、最初に Q1 から Q4 までそれぞれ分けてお話をさせていただき、最後にまとめて、ご意見を伺って行こうと思っております。

では最初にまず Q1 ですね。

現在の深井駅周辺の課題ですけども、資料 6 の学生さんがまとめてくださったのは 4 点ぐらいございました。皆様からいただいた資料を拝見しますと、少し言い方は違うと思うんですけども、学生さんがまとめてくれたポイントと大体同じようなポイントを皆様もあげられていると思います。例えば、活気に欠けているとか少し店舗の老朽化が目立っているとか、そういうのが結局最後の深井に行く動機がないというようなことに繋がっているのかなと思います。

まずは、これ以外のポイントについて何か課題として感じてらっしゃることで、同じことでも結構なんですけれども、指摘しておきたい課題のポイントがございましたらですが、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○澤本構成員 深井駅の方でお花の作業をされているのですが、その時に時々声をかけられるのが、「ソフィア・堺はどっちですか」とか、「原池公園はどっち方面ですか」とか、「大きな通りはどっちから行ったらいですか」って聞かれることが何回かあるんですね。やはり深井駅に降りた時点では、どちらへ行けば、どの方向にあるのかっていう表示があまりないように感じましたので、もう少しわかりやすくした方がいいのかなっていうふうには思います。

○森田座長 ありがとうございます。

案内板といいますか、案内するものがちょっと足りないのではないかということですね。おっしゃるように、例えばソフィア・堺にしても、ここに今出ている土塔もそうですし、他もそうなんですけども、ちょっと微妙に距離があるんですよね。かつ、駅から見ても、お住まいの方はわかりかと思うんですけども、そうじゃない方は多分方向すらもわからないとのご指摘のとおりかなと思います。案内板が欠けていると思いますので、それを追加していただけたらと思います。

他に何かご指摘いただける点はございますか。

はいどうぞ。

○桂構成員 いろいろな方が書かれていることなんですけど、高架があってこの駅の周りが暗いであるとか、歩道が狭い、あと車が多かったり、渡りづらい幹線道路があったりということで、何か自由度がないような形で伸び伸びと歩き回れるような町ではないのかなっていうことを何回か深井に来て感じたので、発言させていただきます。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

これもご指摘のとおり、ごもっともだと思うんですけども、先ほど申し上げましたように今出ている最後4点目の八田荘のところもそうですし他の地域もそうなんですけども、微妙に距離が離れていてかつ大きな幹線道路を渡らなければそこにいけない。これは地図上で見ると近くだから行けるんじゃないかと思うかもしれませんが、実際自分が歩いてみると、ちょっと抵抗がある距離なんですよ。

今ご指摘いただきましたように例えば、専用の歩道とかがあれば、そこを安全にお子さんやいろいろな方が歩けるのかなと思うんですけど、そうなっていないとこのぐらいの距離と思うかもしれませんが、やっぱり移動に問題あるっていうのは確かにご指摘のとおりかなと思います。これは次のQ2の例えば学生さんが指摘してくださったサイクリングとか、ランニングコースみたいなものもちょっと繋がるのかもしれませんが、移動を考えるのであれば安全に移動を可能にするような仕組みが必要なのかなというのは、ご指摘のとおりだと思います。

ありがとうございます。

他、何か問題点としてご指摘いただけることがございましたら。

大体そんなところでしょうかね。

では、今Q1の課題につきまして皆さん資料をまとめていただいているように、提案もいろいろいただいていると思うんですけども、今ありました学生さんの4点から挙げてくださった点プラス交通案内、それから移

動経路の確保といいますが、方法ですかね、何かそういうことについてご提案等ございましたらお聞きしたいと思います。

皆さんにいただいた意見でいうと、多分 4 番ですかね。4 番の動機に繋がるような点で、例えばカフェなど何か新しいものを作ることや、若い世代ですと、広場の休憩スペースですかね、そういうもの。あとはアクセスの改善などがおっしゃっていた中にも入っていましたし、あとは人的資源の活用でいいと思うんですけども、ボランティア活動を通じて若い世代の参画促進というような点が挙げられていたかと思いますが、何かこれらの問題につきましても、ご提案やご発言をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。もちろんここに自分でまとめていただいていることをもう 1 回言っていたいただいても構わないです。

少しポイントを絞って、もう少しお話をしましょうか。例えば学生さんが挙げてくださった 1 番の点で言いますと、魅力や歴史、背景なんかが伝わっていないというようなことを指摘されているのですが、何かそれらについて、いいアイデアはございますか。

はい、どうぞよろしくお願いします。

○伊藤構成員 深井周辺は、ずっと昔からインフォメーションの部分というか全体的なところでも結構施設が整っているようで整ってない。駅の明るさで言うと、他の大きな主要の駅と比べるとずいぶん暗いのかなと。そういう意味の中で、治安が悪かったりしたが、警察が来てくれたので巡回等により治安的にはちょっと上がっているのかもしれないんですけど、やっぱりいろいろイベントや情報っていうのがあるにも関わらずそこでされている内容だとかっていう部分を、こういう時代ですので、ビジュアル的に発信できそうな、インフォメーションのできるものが、大きな看板を付けるとかでアピールする部分があれば、その部分で明るさも結構確保されるでしょうし、情報を発信するツールがあればなあということころは、前々からの問題も含めてですけど、出来たらいいなと思います。

今度この辺りを活性化される際には、重点的に取り組んで設置してほしいなと思います。

○森田座長 はい、ありがとうございます。デジタルサイネージみたいなものですかね。

私は、駅周辺についてはあんまりよくわからないですけど、例えば具体的に言うところどこにデジタルサイネージを付けると、いい感じになるっていうようなご提案はありますか。

○伊藤構成員 一番いいのは、深井駅の壁に、大きなスーパービジョンとまではいなくても、少々大きめのビジョンをつけることによって役所からの情報または、深井はちょうどだんじりがありますので、だんじりの時期なんかだったら、だんじりを引いておられる方とか宮入されているところが映し出されることによって、そこになかなか見に行けなかった人でも、それを見られる、見える化するという部分ではすごく進むんじゃないかなと思っています。

駅との交渉の部分もありますので、それが可能かどうか課題はまだまだあるんですけど、そういう看板的なものもいいと思います。先ほどのソフィア・堺でのイベント情報だとか、結構あそこにはプラネタリウムもありまして、いい施設が周りにたくさんあるにもかかわらず、そこでやっている内容、広報だけ見てもなかなか堺市のホームページまでは見るっていうところまではいかないと思うんですけど、ちょっと駅の近くに寄ったときに

そういうのが目に入ったりとかすると、ちょっと寄ってみようかなとか行ってみようかなとか、こういう時期に開催するという情報は目に入ってくるんじゃないかなと思いますので、わざわざ見に行かなくても目に入るツールがあればいいなあと感じております。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

ということは駅に何かそういう見えるものがあればいいということですかね。

○伊藤構成員 一番人が出入りするところなので、はい。

○森田座長 わかりました。

ありがとうございます。

他、何か今の意見に関してでもいいですし、その他の件でも結構ですがいかがでしょうか。

最初、歴史背景の話を書きましたけど、この中で一番深刻といいますか重要なポイントは多分学生さんの言っている点でいうと4点目のわざわざ深井に行く動機がない。これが実は究極の問題といいますか、一番大変なことなのかなと思っておりまして、やっぱり動機がないということはコンテンツが弱いのか、そのコンテンツが存在していても宣伝が足りないか、どちらかっていうことだと思うんですけども、行く動機になるような、現在存在する中でも、こういうものがないんじゃないかとか、もしくは新たに作るんだったらこういうようなものがないんじゃないかとか、何かそういうご意見等はいかがでしょう。

○太田構成員 すいません失礼します。太田です。

子育て支援をやっている中で、小さいお子さんがいらっしゃるお母さんが、深井駅周辺って小規模保育園とかこども園がすごく増えたんですけど、深井駅の駅ナカにこども園がないのが残念っていうのをすごく言っている方が多くて、結構今皆さんは、社員として働かれていて電車を使われる方もすごく多いんですね。

結構長時間労働で時短であったとしても5時、6時まで働くですって言われている方が多いんで、これ以上増やす、増やせないとかいろんな事情があると思うんですけど、駅ナカにこども園があったら良かったなっていうのをやはり個人的に思いました。

ありがとうございます。

○森田座長 はいありがとうございます。

スペース等の問題はあるとは思んですけども、可能であれば、当然駅の構内であれば非常に利用しやすいというのは、おっしゃるとおりだと思います。そういうことがあれば子育て世代の方には非常に便利なので、例えばそこに住んでみようと思う動機のひとつになるかもしれませんし、マッチするかなと思います。

可能かどうかという問題はちょっとわからないとしても、アイデアとしては重要なかなと思います。

他、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○竹井構成員 深井プラザの竹井と申します。

駅にお店を出している者としてはちょっと耳の痛い話が続いているんですが、結局駅の案内板とかも、私達も泉北高速鉄道さんにずっとお願いしているんですよ。やっぱり私らも一番聞かれます。「ソフィア・堺までどういったらいいですか」等そういうことを一番私らが駅ナカで聞かれるんですよ。そういうのを設置してくれとか、さっきの保育園の話もそうなんです、駅の中で子育て世代のお母さんが働かれるときに子どもさんを預けていかれるような、そういう施設を作ってくれていうのもお願いしていますが、それも要するに窓がないとか、この施設の中でそういう許可等ができないっていう話が、私も散々お願いしているんですけど、できないって言われたらそれまでになってしまうんですね。だから、私も泉北高速鉄道さんには何度もお願いしているんですが、そういう看板とかでもそうですけど、ちょうど深井プラザ自体が 40 年で、泉北高速鉄道が 50 年になるんですよ。老朽化っていう面もあるんですけど、やっぱりそういう古い施設なので許可できないっていう面もありますんで、その辺はちょっとご了承いただきたいんです。

あかんと言われたから、はいそうですかと言うんじゃないに、私も可能な限り積極的に訴えかけて行こう思っていますので、長い目で見ていただけたらありがたいなと思います。

すいません。

○森田座長 どうもご指摘ありがとうございます。

上がっている点についてはもう既に取り組まれているということでしょうけども、確におっしゃるように窓がないとか、いろいろ老朽化や法律の問題があると言われてしまうと、もはやどうしようもない。その辺りは公的施設とどう関わって問題を解決するのがいいのかってなかなか難しい問題なのかもしれませんけど、多分中区役所さんも何かできることがあればご協力していただけるかなという気もいたしますので、その辺をお話していただいて、いい方向での解決があればいいかなと思います。

他、実際にはできないことでも結構だと思うんですけども、アイデア提案ですので、ご自由にご提案いただければ、はいどうぞよろしくお願いします。

○巽構成員 今回、どこまで答えていいのか悩みながら回答したんですけども、誰に来てほしいのかっていうところが、どこまで広げていいのかわからないので、住民の方に喜んでいただくのか、大学生を呼びたいのかそれとも外の人になると最近はインバウンドの外国人とかそういうところもあります。

例えば、魅力的な歴史背景が伝わってないっていうところでいくと、注染の手ぬぐいなんかは、やっぱり素晴らしいです。外国人の観光客は物よりも経験をものすごく求めています。

堺市では、包丁研ぎにわざわざ外国の方が SNS を見てやって来ているらしく、例えば注染の手ぬぐいを作るとか、そういったところにも使えるのかなと思いつつ、でもそれを提案してしまうと、観光公害みたいな問題もちょっと社会課題で起きていて、この深井駅周辺のにぎわいの話をする時には、どこまで提案していいのか、構成員の 1 人としてすごく悩んでいました。

○森田座長 はいありがとうございます。

非常に重要なポイントでして、例えばマーケティングを考えると何がターゲットなのかという話ですね。

多分この辺りに皆さん同じ疑問を感じてらっしゃったんじゃないかなと私も感じましたけど、私は基本的には周辺住民の方プラスα、例えば先ほど学生さんもおっしゃいましたけども、学生がこっちにちょっとやってくるぐらいはあるのかなと思うんですけど、それよりも遠いところから呼ぶとなると、例えば大阪市内からこっちに行きますかって、多分現実問題来ないですよ。よほど来てくれるコンテンツがあれば別なんですけど、そう考えると、最終的にはそのインバウンドとかいうところまで考えてもいいのかなという気もするんですけども、まずはやっぱり足元って考えると地元の方プラスαなのかなと、私は個人的に思いました。

皆さんは当然別のご意見もあると思いますので、あればご自由にご発言をしていただければ。

○金澤構成員 皆さんこんばんは金澤です。

学生さんがまとめられた、この資料ですけれども、まさにまとめられたこのとおりの地域の問題点であるというふうに思います。この水賀池公園に新たに何かを取り入れ変えていこうっていうのは、私も先祖からこの地域に住んでいるものですから、なかなか地域の人にはそういう発想が出にくいと思います。もちろん朝晩の駅の乗降客と言いますと学生さん、もしくは出勤の方の乗降客だけで昼に通ってみると本当に人が少ないというようなことで、当然地域も高齢化、そしてまた人口減少ということが、過去からなっているわけで、将来 5 年先 10 年先を考えたときに、本当にこのままの状態がこの地域がいいものかというふうにまず私自身が思ったわけで、当然地域の方の中でも、こういった話は常に出ています。

本当に我々団塊世代が現役においてですね、昼はほとんど何ていうか、散歩しているか、喫茶店に行っているかというふうなそういった人口が非常に増えつつある中で、この水賀池を何とかできないかというようなことでお話をさせてもらった結果、この素晴らしいものができるっていう話になってはいるんです。

この地域では大きな行事としては中区民フェスタまた地域・校区ごとには、祭り、各町には、連合運動会とかが年に三つないし四つぐらいはあります。その度に話が出るのが、だんだん若い子が少なくなってきたなど。

また、例えば祭りであれば、法被とか、地下足袋とか、股引きとかいうようなものについて、応援に来てくれる人がおれば、それを貸し出すというようなことを各町が独自でいろいろ考えてやっています。

その中で、公立大学の学生さんに、何らかの公募で声をかけたときにね、学生さんがそういったところに参加される人、されない人は当然あるかと思うんですけども、そういう仕組みでこちらから案内させてもらってもいいのか、またそれに参加しようかっていう人はありますか。というのはね、やはりそういうやり方で回数を重ねることによってね、若い学生さんが生き生きしてもらえると同時に、違った面で何か魅力ある店ができたりするんじゃないかなと思うんです。もちろん今言うてすぐには無理ですよ。だけどこの水賀池公園整備が計画どおり進んでいく中で、公立大学から自転車でも 15 分ぐらいで来れるんじゃないかなと思うんですけども、地域と学生さんが一緒になって何かをやっていければというように地域の皆様が思っています。ただそのきっかけっていうのがないものでね、どういうふうなきっかけで話を持っていくのか、またそういう学生さんとの交流の会をやるべきかなあと。

例えば、昨日町会で青年団が厄払いということで餅つきをやりました。当然参加する人はもう知った人間しか来ません。同じ町か友達が何人か来るぐらいで、もちろん家族子どもは来ますけれども、だけどそれだけじゃなしにね、大学生の皆さんも一緒にそういったところに参加してもらいたい。参加してもらえれば、今

までは希薄になっていると思うんですけど、これからそういうことを繰り返しやっていくことによってね、親睦が深まるんじゃないかなって思うんです。

地域には、若い子はいるのはいるのですが、そういった行事に参加する人が少ない。また学校の PTA ひとつにしても、子ども会がなくなり、子どもさんはいるのだけれども、例えば東深井小学校では約 700 名の生徒がいます。ただ、子ども会の無い町、それから親御さんがある程度になってきたら役員をせなあかんから子ども会をやめるっていうようなことで、なかなかそういう子ども会に参加する家庭も少なくなっています。20 年ほど前には、この東深井校区で野球チームが各町ごとに 7 チームか 8 チームあったと思うんですけれども、今は、8 町の連合で 1 チームしかないです。そういった中で、子どもさんが小学校に 700 名いますが、なかなかそういったスポーツ行事に、子どもが参加されない。ところが、サッカーの教室には参加しています。それも家庭の事情があることはよくわかるんですけれども、ただ、地域の活性化っていうことを考えればね、本当に学生の皆さんが何か応援してもらえるような、またこちらから気楽に話しかけていけるような、仕組みっていうか、何か候補はないかなというふうに思っています。

以上です。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

せっかく学生さんの繋がりのお話が出ましたので、直接的には学生さんがせっかく来てらっしゃるんで、どうですか、例えばこういうきっかけがあれば参加しやすいなあとか、例えばこういうイベントだったら参加しやすいとか、同じお祭りするにしてもこんなやり方していただけると何か入りやすいかなとか何でもいいんですけども、何か地域との繋がりを積極的にしていけるような、考えとかはないでしょうか。

○桂構成員 大阪公立大学の中百舌鳥キャンパスの学園祭ってというのが、白鷺祭と友好祭っていう大きいのがあって、それ以外にも七夕祭でしたか違うものもあるんで、中区にせっかく大学があるんで、中区役所や地域が企画して祭りをするというよりは、その七夕祭みたいな感じで大学の祭りとして、深井でやる大学祭みたいなものがあつたらなんか面白いなみたいな感じで、大学生も来たりするのかなあっていうのを今考えてます。

○森田座長 いや、いいと思います。

問題は誰が企画してくれるかっていうところですね。

是非そういう企画を作っていただければ。あと大学との繋がりで言うと中百舌鳥キャンパスは直近だと桜まつりが 4 月の始めにあるのかなと思うんですけども、例えば桜まつりとかって何か繋がりがあつたわけ、地域の方とか来られているような気がするんですけど。

○巽構成員 公立大になってからはコロナ禍もあつて、地域の人を呼ぶような形ではやっていなかったと思います。

○金澤構成員 まず初めから何をしたらいいかってことをね、今言われたように、大学の学園祭があるんだ

よ、だからそのときに地域で何かやることないかと、第 1 回目の話すきっかけをね、何か提案して欲しい。それに慣れてくれば、例えば今の方に窓口になってもらってですね、また逆にこちらから提案させてもらうとか、そういう話を始めるきっかけが大事やと思うんですね。学校の前を通過して大きな看板が上がってれば、「学園祭をしているんだな」と見る。でも、見るだけで、大学の中に入らないうようなきっかけもないんですよ。学園祭、七夕祭りをどこまで案内しているかわかりませんが、我々としたら、そういった地域の人にも PR してもらえそうな何かを、例えば、地域ごとに案内を回覧板で回すとかチラシを撒くとか、ああいうようなことがね、始めるための一つのきっかけとしてまず大事じゃないかなって思うんですね。

もちろん今言っても 1 年先、2 年先にはどうなるかわかりませんが、まず続けていかないと、今言いましたように今度この水賀池公園のところにマンションが建ちます。そしてこのマンションとは別でこの地域で、正確にはデータを覚えてないですけど、高齢化が進んでいることは事実です。やっぱり地域だけでそういったお祭りとかいうんじゃないし、学校の方にも案内を出させてもらって、祭りに参加してみたいという人がおればですね、我々は両手を広げて待っているような状態ですんで、そういった以外でも今言われたようなことを含めてですね、いろいろ相互にキャッチボールしたらどうかというふうに思います。

○森田座長 ありがとうございます。

そのあたりの何か繋がりとか松居さんは何かご存じなところはないですか。

○松居構成員 はい、松居です。

とりとめない話になってしまうかもしれないんですけど、まずは最初におっしゃっていたような、話し合うような機会っていうのは作れるような気はします。過去にも何度かそういうことはありました。特定の町会さんもありましたし商店会さんとか、何かこの地域の方からのお話を聞く中で、よく耳にするのは、いわゆる若い人にまず何してもらおうかどうかっていうところはさておき、まず話を聞きたい、若い人の感覚でこのトピックについてどう思うんやろみたいなこと、まさしく今回のテーマの学生部会の取り組み自体がそうかもしれないと思うんですけど、なので、まずはそういった意見交換の場であれば、いろんなパターンで私がボランティア市民活動センターではやったことあるので、そのテーマを何か出してこういうふうな内容で話を聞きたいんだけど、というようなことは時折あったかなという気はします。というのがまず一つと、例えば本学から深井までは近い方だと距離としては思っているんですけど、今日のお話に出ていたみたいに、若い人が日常的に行き来するということは、もしかすると現実的ではないかなと。今すぐ 5 年後 10 年後にそうなっているかというとなんかことはないかなと思うんですが、例えば年 1 回とかでも相談にやってきて、毎年この時期だったら、公立大学生さんが来て何かやっているみたいな意味合いであれば、まだ実現可能性もあるのかなあというところを少し思いました。

一つの事例で言うと、西区の方なんですけど、西区なのでそんなに近いわけじゃないんですけど、もうかれこれ 10 年以上は毎年夏ぐらいになったらある小学校に行って、PTA の方々と一緒に子どもたち向けのイベントを企画して実践するというふうなことを、もう 10 年近く続けています。タイミングであったりとか中身によって、どういうふうに地域の方と学生たちが意気投合するかっていう巡り合わせの要素はどうしてもあって、特定の校区なので、区全体に広がっているとまでは言えないんですけど、この時期になったら来て一緒に

何かやっているよねっていう実感は 10 年続いていたら地元の方もそれなりにお持ちくださっているというようなものもあつたりするので、そういったことのきっかけが、最初はちょっと何ができるかわかんないけども、とりあえず何かお話してみませんかみたいな、そういうところから生まれてくる可能性もあるのかなとは思いますが。そういったセッティングであれば、よければしていけたらいいかなっていうふうに思いました。

○森田座長 ありがとうございます。

ということなので、そういう意思がございましたらまとめて松居さんのところか区役所を通じて構いませんし、ご相談いただいて、そういう繋がりのあるところかどうかかわからないとなかなか多分事務の方に言っても難しいかなと思いますので、多分そういうコネクションを使いながら進めてみたいという流れの方が話が通じやすいかな。

それではもう少し学生さんの意見を聞いてみましょうか。

どうぞ、よろしくお願いします。

○堤構成員 堤と申します。

私は、出身が東京の方で現在大阪公立大学の中百舌鳥キャンパスに通わせていただいているのですが、出身が大阪の方でないのも、ホーム感というか大阪の地に対して、すごくよく行く馴染みの店やそういうものが、あまりありません。そういう学生が結構大阪公立大学には一定数いるのかなというふうに思っております。やっぱり実家から通っている学生となると、帰り道の方も、中百舌鳥駅やそちらの方にどうしても流れてしまう、逆に実家が大阪や関西圏じゃなくて地方から来ている学生はこのあたりに住んでいて、日常生活を送っているということも考えると、こちらの学生の方がまず深井に訪れるハードルは低いのかなというふうに考えております。

またお祭りや地域のイベントにどうやったら大学生が参加しやすいのかなという問いに対しての私の考えとしては、結構地域の祭りは、地域の方々がやっているがゆえに内々になりがちというかその地域のルールというか地域なりの文化があって、そういうものを経験するっていう点では、参加するのはすごく面白いと思うのですが、やっぱり一步を踏み出すときに内々すぎたりとか、世代が離れすぎたりなど文化カルチャーが違って感じてしまうと、一步踏み出しづらいつなっていくところは少し感じました。なので、大学生に来てほしいんだよっていうのを打ち出してしまったり、受け入れてくださる側の顔がよく見えるだとか、何かそういう仕掛けがあるとお祭りに行くのも楽しくなるのかなというふうに思いました。

○森田座長 ありがとうございます。

おっしゃるとおりでたぶん金澤さんとかはウエルカムだと思うんですけど、何か具体的に例えばこういうふうにしてもらうと入りやすいみたいな、もうちょっと具体的なポイントはありますか。

○堤構成員 私が、実際にこちらに来て参加した商店街のお祭りがいくつかある中で、それに何のきっかけで参加したのか、何がその参加する決め手になったのかなっていうのを考えると、その商店街の祭りって他の地域の人もたくさん来て盛り上がっているよっていう噂を聞いたことなのかなと思います。実現の可能性って

いうとすごく難しいんですけど、やっぱり運営していらっしゃる方々が、私達が運営していますというのを大々的に打ち出して、例えばこの店の私がやっていますみたいな顔がよく見え、企画者の方やその思いが良く伝わってくる、SNS や、広報チラシなどその媒体は色々だと思うんですけど、そういうのがわかったときはその人に会いに行く、というわけではないですけど、そういう取り組み面白いとか、こういう人たちがやっているんだなというのがわかるとちょっと参加しやすいのかなと私個人としては思いました。

○森田座長 ありがとうございます。

ということはやっぱり学生と一緒にイベントを作らないといけないですね。

○金澤構成員 例えば祭りでしたら、子ども会では小学生、青年会は高中生ですね。そして、青年団ってというのは大体 22、23 から 25 歳ぐらいまで、年齢は各町内で上限を決めているんです。先ほど言いました私の地域の餅つきも大体この高校生ぐらいから 20 代後半ぐらいまでの参加者が多いです。

大体それ以外のことで、催しをするときには若い子を中心にいろいろ計画企画を立ててやっているものから、我々自身はそこにただ案内が来て参加するだけです。学生さんに年寄りばかり集まったところに入ってもらってもいろいろ無理な話だと思うし、話をしてもね、なにか人生の経験の話も聞いてもらえるとかはあるかもわからんけども、やっぱり行事ごとに関しては、そういう年代層に応じた会とか催しを地域でも計画しています。

先ほど堤構成員が言われたように、入るきっかけ、またどういふふうにしたらいかっていうことも含めてですね、そういう話をする機会を設けてもらえば、徐々に理解してもらえるんじゃないかなというふうに思います。

○森田座長 ありがとうございます。

年代層が合っているっていうのも重要だと思うけど、やっぱりそこに入り込んで一緒にイベントを作った方が、彼らにとっては入りやすいのかなっていう気がするんで、その努力をする方が早いような気がするとお聞きして思いました。

○松居構成員 すいません。

私が担当しているのは、中区方面と中区役所ですが、やり取りするのはまだ十数年ですけども、思い返したときに、どういう時にこちらの方に行き来する、先ほど年 1 回とかもあったかなというふうに思い出したのは、もう何年前ですかねハロウインのキャンドルナイトを、区役所で毎年 10 月ぐらいにやっていた時があったんですよ。今の学生さんたちはご存じないと思うんですけど、その時なんかは毎年 10 月ぐらいだから今年はないんですかという学生から聞かれたりしていたなあとというふうなことがあり、いわゆる恒例行事というか、イベントがあったりすると、大人数ではなかったんですけども、少なくとも何人かの学生たちが行き来していたなあと。特に区役所という中立的な場所で開催していたので関わりやすさもあったような気はします。キャンドルナイトはいろんな中区の方が出展して、みんなでイベントを作っていく形だったので、ある意味参画もしやすかったのかなというふうな印象だと覚えています。

ただ一方で、先ほどのお話で上がっていたみたいに、理想をいうと、ありがたいことに中区の区民フェスタ

の方も出店する機会をいただいていたんですけども、いわゆるその出店する場合は極端に言うと事務局の方に申請用紙だけ出して、あと当日来たらそれで済むという形なんですけども、地元の方との交流の部分ですね、先ほど西区の方の事例を出したんですけども、まさしくその校区の方と打ち合わせ段階から一緒にそれこそね、食事とかをする機会もあり、毎年直接行っている〇〇さんっていう方が居てやりとりしていて、来年も来てと直接言われるので行きますというふうになったということからすると、直接的なふれあいたいなところはあるに越したことはないのかな。また、そういうふうなところがあれば、より人同士の関係に繋がって、ある意味持続的なものにも発展しやすいのかなという印象を持ちました。

〇森田座長 そういうところを一緒に作り上げていくようなポイントがないとなかなか難しいですよ。

はい、ありがとうございます。

話的には、もう 2 番に入っているような気がするんですけども、ちょっと大学の話ばかりしすぎたんで、それ以外のところのお話をしたいと思います。今のお話に関連しても結構ですし全然違う場合でも結構ですがいかがでしょうか。

はい、どうぞ。

〇今西構成員 すいません。

大学の話に戻ってしまうんですけども、こちらから大学に行くことってすごくやっぱりハードルが高くて、何か研修であったり、会議だったりとかに行くしか全く用事がないんですけど、食堂とかって誰が行ってもいいんですか。

〇森田座長 食堂はですね、生協になっていまして、今まではちゃんと出来てなかったんですけど、一応価格差を作らなきゃいけないというふうになんていって、基本的には組合員の方が利用するんですけど、組合員以外の方も利用できるようなにはしております。

〇今西構成員 予約がなくてもフラッと入れますか。

〇森田座長 入れます。ただ学生の昼休みが、12 時 15 分から 1 時間なんですけど、最初の 30 分ぐらいはちょっと皆さん、列をなして待っているんで、行っていただくのであれば 12 時前か 1 時を過ぎてから行っていただくとうろしいかと思います。

〇今西構成員 地域の方って結構来られていますか。

〇森田座長 ほとんど来られていないと思います。

桜の季節などには食堂の裏に池がございまして、その池の周りに桜の木が植えてあります。そこで花（さくら）まつりを行っているんですけども、それをご存知の方は行かれるかもしれませんが。そうじゃない方は、行かないかな。あとたまに保育園が遠足的な感じで利用しています。その他では、工事業者の人が使っ

いることはありますがそれ以外の方はあんまり利用していません。

○今西構成員 地域の人が行ってもいいのかどうか、私もわからなかったから、外の方も利用できるのであればそれをもっとわかるようにしてもよいかと思いました。

○森田座長 そうですね、大挙して押し寄せられると困ると思うんですけど、多少来てくださるぐらいであれば全然問題ないと思います。

それと別に食堂だけじゃなくて、その目的にもよるとは思うんですけども、こんなことやりたいみたいなご相談も別に受けるところがあります。特に、さっきまでの話で言うと、例えば松居さんにお話をするのが一番早いかなどは思うんですけど、公式的なルートで事務的なところにお話するのもありでしょうし、例えばQ2でさっき学生さんが言ってたんですが、大学の授業との連携とかでいうと大学も広いんで、どういうテーマにどういう人がぴったりなのかっていうのはすぐには皆さんが把握しているわけではないんですけども、例えばこういう内容でこういう講演をして欲しいとか、何かそういうリクエストがあればそれはそれでご相談いただければ、当てはまる人がいるかどうかはちょっとわからないですけど、出来る人がいれば多分受けていただけるんじゃないかなと思います。

皆さんにとっては、多分大学の敷居は高いんだろうと思うんですけども、それほどのもでもないです。

必ず言っていることが実現できるという保証はないんですけども、別にコネクションを作るのは全然問題が無いと思いますので活用していただければと思います。

○静構成員 何十年前かに松居さんにお世話になったかなと思うんですけど、うちは福田校区ですけど、福田校区の文化祭に大学も参加していただけないかなというような感じで3年ほどお付き合いしていたんです。

しかし、自治会というのは役員さんが変わったらやり方が変わってってしまうということもございまして、森田先生が言った、事務局でその辺の看板一つも深井駅に必要と言ってくれるよりも、行政も協力して、地域と大学生とのイベントなどを一緒にやっていただければいいのかなと思います。我々だけでは大学との付き合いは敷居が高いつのものが本音でございまして。一般の事務所ではなく、学生さんの事務所的なところがありますよね、そこへ申し込み行ったんですよ。こっちも悪いんですけど、文化祭が終わったら苦勞さんぐらいで付き合いが終わってしまっていた。先ほども他の構成員さんが言っていたように、終わったら会食でもすると人間関係ができてくると思います。だから、学生さんがというより、応援していただくのに、我々の方の後のフォローがなかったかなとも思うし、本当にもうこの辺は難しいところです。

深井駅周辺に看板が足りないこともそうです。

私は中区で住んでいながら、バスに乗って市民病院にどうやっていくか分かりません。泉北高速鉄道ができてから電車の道のコっち側と向こう側とが遮断されてしまったわけです。深井駅から原池公園に行くのも行きにくいと思います。

そのため、お互いに行政と力を合わせてなんとか良い方法を出していかないといけないと思います。

私は、ご飯を食べるために深井の方に向けて行こうという気になりません。はっきり言って、大阪の方へ

出て行く、あべのハルカスであれば、我々の年はお出かけ応援カードを使って阪堺電車に乗れば 100 円で行けます。そういうこともお年寄りの中では話に出てきます。せっかくお出かけ応援バスがありますので、南海バスさんと行政が上手くルートを考えていただくことをお願いしたい。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

非常に地元の方の意見は重たいかなと思うんですけど、やっぱり学生との繋がりは継続的にやっていくのが重要かなって印象ですね。

あとは、魅力のあるものが何なのかっていう Q3 にも繋がる話なのかなあと、そのあたり、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

○田重田構成員 志塾フリースクールラシーナの田重田です。

すいません、ちょっととりとめない話になるのかもしれないですけど、僕は深井東町の出身で 3 歳ぐらいから小学校 6 年、そこから福田に引っ越して、その後八田に引っ越してと中区を結構ウロウロしていたんですけど、地元民からすると、泉北ニュータウンは、もうベッドタウンでみんな働きに大阪に行っちゃうからそこを活性化するというと、そこに滞在する人を増やそうみたいな目的が明確だけど、深井はベッドタウンでもないし、かといってすごい商業地でもないし、どっちにするのも、なかなか難しいのかなって元地元住民として思うところで、このにぎわいってものの定義がさっきおっしゃられたように、経済を活性化させたいのか、人口を増やしたいのか、地元の人にたくさん来て欲しいのかってところのどれを意図しているのかによって、アプローチっていか考え方が変わってくるのかなと思うんです。元々住んでいた立場からすると、外から人を呼んでくるっていうよりは、そこに暮らしている人たちがもっと要はコミュニティーをちゃんと作って、若い人が出て行ってもまた帰ってきたくなるようなまちづくりとか、地元で誇りを持ってもらえるようなまちづくりみたいなのができたらいいのかなって思うんですね。

そういう観点で考えるとやはりコミュニティー拠点みたいなのがあったらいいのかなってというのが、一番思うところで、例えば、大きな図書館とか、最近ちょっと流行で安直かもしれないですけど、結構様々な大きな図書館とか安藤忠雄が作った中之島の図書館とか、寝屋川の駅ナカにできた大きな図書館とか図書館をベースにそのコミュニティー作りをやっているところとかも結構ありますし、その公的な図書館じゃなくても例えば大阪公立大学の難波のキャンパスでされていた巨大なまちライブラリーなど、そういうところで、学生さんも含めて、みんな集まるような場所に集まっているんなことができるっていう場所がこの深井の駅前にあつたらすごく魅力的かなっていう風に思いました。

図書館に関して調べたんですけど、中区の図書館はソフィア・堺にあつて児童館はないんですよね。泉ヶ丘に行けばビッグバンがありますけど、中区にはそういう子どもが集まる場所もないし、そういう地元の人が 1 ヶ所に集まっているんなことができるっていう場所は、目に見える形でアクセスのいいところがあれば活性化にも繋がるのかなというふうに思いました。

以上です。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

おっしゃいますように方向性は結構重要で、それが全然違っていると云っていることが全く違う話になってしまうと思うので、重要なポイントだなというのと、おそらく、いろいろお考えはあるとは思いますが、この辺での今の状況での開発といいますか、やっていきたいこととしては、まずおっしゃったような方向性が一つなのかと。

問題は、その図書館をベースにするかどうかはいろいろ考え方があると思うんですけども、地域住民の方をベースに考えた展開は、方向性として正しい一つの方向かなというふうには思います。

とはいえもっと他の人を呼びたいとか、それを呼ぶためにはどうしたらいいのかみたいなアイデアがあればそれもお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。なかなか事業規模の話もありますし、言うのは簡単ですけど、なかなか先立つものがなかったら出来ないものもありますし、とはいえアイデアなんて言っていた方がいいと思いますが、そういう方向性はあんまりないですか。

はいどうぞ。

○仲氏構成員 PEACE の仲氏です。

実は去年、松居さんにお声掛けさせてもらって、友好祭にキッチンカーを出店させていただきました。初めて出店させてもらったんですけど、作業所の利用者や当事者の方も一緒に行かせてもらって、そのときはかき氷を販売させてもらったんですけど、200 食ぐらい売れまして、結構学生さんも来てくれて、写真撮ってインスタにあげてくれたみたいです。その時私は、すごく学生さんのパワーをめちゃくちゃ感じたんです。

学生さんがおっしゃったみたいに学生さんの白鷺祭や、友好祭をこの水賀池のところで本当に出来るのであれば、すごく可能性を秘めているのかなってところは感じるんですけど、先ほど深井駅の掲示板の件や竹井構成員も言っておられたみたいに、どうしても縦割りがあったりすると思うんです。出来ること出来ないことが出てくると思うので、実際この水賀池公園のところ、これから第 3 セクターのところとかがされるところでそういったことができるのかっていう部分も含めて、キッチンカーを出店するにしても、その出店料やいろんな方々に関わるうえで、やっぱりお金や人、時間っていうのはどうしてもついてくるので、そのところをどう描いていかなあという課題があります。

イベントをするにしてもイベントだけではなくて、定期的にマルシェを仕掛けることや、その仕掛ける方が主体性を持ってやるのかっていうことも含めて、そこに持続可能性をどう描いていけるかがすごく大事なかなと思うんですけど、そのところはやっぱり水賀池公園を開発する方々とも話をしていかないと、ここで話をしているだけではなかなか難しい現状があるのかなというところがあります。

先ほど金澤構成員がおっしゃったみたいに、まずはいろんな方が集まる場所を誰が音頭を取って作るかっていうところが一番大事なかなというところがあります。行政の方などが音頭を取ってくると、いろんな方が集まりやすいかなというのは個人的な見解としてはあります。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

そうですね、多分学生さんも書いていたところという、Q3 の 3 番目とか 4 番目とか、1 番目もそうかな。農作物の直売所だけじゃないんですけど、何かそういうイベントの開催を、行政の方が音頭をとるんですかね、なかなか難しいとは思いますが、どうかでやらないと何も始まらないですが、そういう何か仕掛けを動

かしていただくのも一つの方法かなという気がしますね。

他、いかがですか。

はい、どうぞ。

○太田構成員 すいません。太田です。

この原池公園がきれいになる時もそうやったんですけど、住民の人は、今回の水賀池公園がきれいになるっていうのは、ものすごく楽しみにされているんです。ただ住民の方が、その後必ず言う言葉っていうのが、「道が混むんちゃうん」っていうところが出てきます。

水賀池公園は、すごく駅前で立地もいいんで私も深井に住んで長いんですけど、すごい大好きなんです。その駅前とか、ちょっと何も無いなと思いつつ、すごく住みやすい。適度に田舎というか、やっぱり生活しやすいなっていうのを感じていて、その中で便利になる、にぎわいが出来るのは楽しみなんですけど、道路の交通状況であるとか、それこそ今以上に自転車が進めにくいとか、やっぱりいろんな問題で、このあたりの住人の方の意見ってすごく大事かなっていうのと、原池公園もすごい良い遊具がたくさん出来ていったんですけど、中学生、高校生にいたずらされて、遊びに行く度に黄色い現場検証みたいなテープが張られていて使えなくなっています。前からそれがすごくもったいないんで、水賀池公園もそうなるんじゃないかっていう不安もあります。若い人たちが夜に公園にたむろして汚すとかがあるんですけど、汚さない仕組み作りって無いかなとずっと個人的に考えていたりするんです。

あと、どこの項目に入れていいかわからなくて、Q2 のところに書かせていただいたんですけども、中区深井といえば、だんじりや注染の手ぬぐい販売、あと地元野菜の小松菜であるとかを PR するような道の駅を、できて欲しいというより、作りたいって思ったんですね。それは、こういう政策会議とか折角いろんな方と知り合える機会があって、先ほど仲氏さんが誰かが音頭をとって話されたんですけど、本当にいろんな職種の方とかが集まる機会なので、何か皆さんで1個作っていけるようなものがあると、住民的にもすごく行きやすいというか、地域の繋がり魅力を発信できるような場所が、こういうメンバーで出来たらすごく素敵かなって考えます。決して私が音頭を取るとかそういう思いをもってだとかでは全くなく、何かそういうのがあったらすごく楽しいなっていうのを思います。

そのために、だんじり関連グッズとかも、例えばだんじりが始まる前に個人でね、子どものポシットを作ったりとか自分の町のピアスを作ったりとかして、仲良しママに販売しているとかもあったりするんですけど、この町のマークを使用して良いのか良くないのか、権利があるのかどうかちょっとわからないんですけど、例えばそういうものを、障害者の施設に通われている方に作っていただいて、そこで賃金が発生して、その売り上げが自治会の収益に繋がるとか、出来る、出来ないは別にして、何かそういう取り組みがあっても面白いのかなあとか、そんな感じで思ってこのQ2 のところに書かせていただきました。

ありがとうございます。

○森田座長 ありがとうございます。

そうですね、どこかが音頭を取ってくれるか、それを行政が音頭を取るべきなのかどうかっていう話なんですかね。なんか核になってやってくれる個人もしくは団体がどういうものなのかっていうところをちょっと考える必

要があって、なければやっぱり行政の人たちが考えるんですかね。

あと駐輪場の問題も、自転車を使うには駐輪するスペースが必要で、住民の人たちが利用するのにも一杯になっていたりすると困りますし、新しい施設にそういうのがどのくらいあるのかわかりませんが、駐輪場がないとサイクリングでとか言うのは簡単なんですけど、自転車でもいろんな自転車がございまして、ママチャリの場合は普通に停められますけど、そうじゃない自転車の場合は止め方が違っていたりしてそういう停められるような器具といいますか、そういうのがないとなかなか難しかったです。

そもそも道がサイクリングロードとして出来ていないと、大人の人はいいんですけども、お子さんと一緒にとかいうことになると安全性の問題などもあるので、簡単にサイクリングとか言うのもいいんですけど、そういう道の整備なんかも結構関連してくるので、この辺りも視野に入れて整備しないと、なかなか難しいと思いますね。

はい、他どうでしょう。

Q3 までのところを今お話ししました。

○谷村構成員 シェアデイズの谷村です、よろしくお願いします。

私も地元でもう 40 年以上生活していますので、深井もすごく大好きなんですけれども、私の方からは外部から人が来ていただけるようなにぎわい作りを考えたときに、この深井駅周辺の伝統産業や、公立大学、原池公園や百舌鳥古墳群とか、この辺を連動させていくっていうところが、非常に大事なのかなと思います。

水賀池ライフパークも今後そうですし、おそらくここが一番のメインの拠点になっていくのかなとこれに合わせて連動していくということも大事かなと思います。

その中で、例えば、Q4 の方にも行っちゃうんですけども、今既存の施設がたくさんある中で、八田荘住宅の建替えのときに先ほどお話しも出ていました道の駅を作るとか、野菜の直売所ですね、そういったものができることによって、例えば 1 日深井で過ごして夕方、野菜を買って帰ろうとか、そういった一連の各施設を連動させて楽しめる深井駅周辺っていうのが必要なのかなと思います。

それにあたって、深井駅の役割としてそれら各施設を楽しむためのサポート機能というか、この辺が大事なのかなと思いました。

例えば深井駅に、水賀池ライフパークに行くにはどうしたらいいか、各施設に行くにはどうしたらいいかといったことを聞ける案内所の設置ですとか、あとは渋滞の話も出たのでレンタサイクルの拠点や、原池公園で楽しんだ後に深井駅でシャワーが浴びられるとか、こういったことがあれば、皆さんが深井駅を拠点にして各施設を使えるのかなと。それがにぎわいづくりにとってより良いのかなと思いました。

以上です。

○森田座長 ありがとうございます。

そういうご意見もあるのかなと思います。

多分アイデアとしてはそれでいいのかな。

例えば注染で言うと、以前注染の調査をしたことがあるのですが、何件か今伝統産業として残ってらっ

しゃる企業さんといいますか家がございまして、その中の 1 件は東京に店を出してそこで実際に注染の体験をやっているみたいな、販売もやっているけどもそういう体験も出来るところをやってらっしゃるんですけども、すごく良い取り組みだと思んですけど、問題はここでやって人が来るのかの問題が最初に出てくるのかなという気がしています。

例えば、そういうことになると、採算ベースではなかなか難しいので補助金みたいな考え方は検討しないといけないでしょうし、そういうところまで考えないと実現が難しいような気がします。アイデアとしては多分そういうことを考えていかなければならないのかな。

他はどうでしょう、はいどうぞ。

○巽構成員 今の森田座長の、注染のところに行くのが難しいっていうのか駅から遠いっていうのも一つあるのかなと思って、最初におっしゃったように私も深井駅というソフィア・堺に行くために使っていたんですけど、降りた瞬間何処にいるのかわからないっていうのと、歩くには遠いんですけどタクシーに乗るには近いみたいな所にすごくいろんな良い施設があるので、一つ提案で書かせてもらったのは、最近地方の観光地とかでよくあるのが、アプリ登録するとお金をアプリから引き落としして使えるレンタサイクルみたいな仕組みがあちこちにできていて、1 日 500 円とかで乗り放題というような形でされていると、すごく使いやすいし外から来た人にも使いやすい。

普段自転車を持っていない学生さんもそのときだけ使うっていうことが可能になってくるので、持続可能性ってことも考えると環境にも優しいですし、そういった仕組みも提供している会社が沢山あるので、そういったところと組んで、深井駅とソフィア・堺とか注染のところの近くとか、住宅の方の新しくできる施設とかにいくつか乗り捨てできるステーションを置いて、自分が行きたいところに行つてそこで自転車を置くということが出来る仕組みの一つ作ることで、移動手段を確保して、ちょっと遠いけど行ってみようかっていう動機付けの一つにはなるのかなとは思いますが。

堺市ってそんなにアップダウンもないですよ。だから自転車がすごくいいんじゃないかと思います。

○森田座長 はいありがとうございます。

おっしゃるような微妙な距離なんですよ。そのため、自転車は確かに一つの方法かなと思います。

シェアサイクルも最近いろいろありまして、入ってくる業者がどのぐらいあるのかってなかなかその場所によるんでなんとも言えないんですけども、方法としては非常に良い方の一つなのかなと。

あとはやっぱりお子さんとか、年齢が高い方もいらっしゃると思うので、そういう方の対応ができるような方法も併せて検討する必要があるかなという気はいたしますね。

はい、ありがとうございます。

他はどうでしょう。

なければ、Q4 もちょっとやらないといけないと思うので、最後よろしいですか。

○田重田構成員 すいません。

巽構成員がおっしゃられたことは僕もすごく賛成で、泉北ニュータウンと違って深井ってすごい平地

なので自転車で行きやすいと思うんですよ。

めっちゃしょうもないアイデアなんですけど、深井でこの東町とか水池とかちょっと駅から離れた遠いところは、昔の僕の住んでいたところだと、45年ぐらい前に建てられた建売のエリアですけど、そういう建売の住宅と、昔からある、結構大きなお屋敷みたいな住宅が混在しているんですよね。そういう何て言うんですか、本当に大きな平屋建ての屋敷っていうのが点在していて、今はだいぶ少なくなっているのかもしれないですけど、そういうところに小さい頃から結構興味があって、入ってみたいなと思っていました。たまたまお友達がそこに住んでいて入らせてもらったことがあったんですけど、そういうところも、深井の魅力の一つだと思います。

大体道が狭くて、車で回するには小回りは利かないし、歩くにはちょっとやっぱり遠いのでレンタサイクルとかを使って、地元の住民の方の協力が必要ですけど、そういうところを巡れるような何かイベントやスタンプラリーみたいなものがあれば面白いなって思いました。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

あれですかね、自転車を使ったっていうところはちょっと違うんですけど、Q2の学生さんがまとめてくれたところの一番上のポイントに近いかな。

○森田座長 それではQ4の方に移りたいと思います。

Q4は八田荘住宅の建替えにともなう活用地にあれば良い、まああれば良いなんて言い始めると適当なことを言っちゃうかもしれませんけれど、皆さんのことを考えて、まあこれも誰のことを考えて必要なものっていうのを考えるかという想定が皆さんの中で統一されていないのかもしれませんが、例えばこういう人たちのためにはこういう施設が必要かなというような感じで、ご提案をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

そこに何か新しく作るとしたら、はい、どうぞ。

○太田構成員 すいません大田です。

一つだけ近隣住民のニーズっていうところで、小児科があそこの地域だけポツとないんです。

あの道沿いに昔は二つぐらいあったんですけど、もう閉めてしまって、深井駅の東側だとまだ東百舌鳥や他の校区にはあるんですけど、あそこの動線のところだけほとんどないんで、小児科を望む声は多いです。

どうもありがとうございます。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

とても重要な指摘だと思います。やっぱりどう考えても通りを分けて、反対側にあるからっていう理由ではちょっと済まないですよね。特に小さいお子さん連れていると、交通の移動は思った以上に、自分1人で移動するより大変なので、非常に重要なポイントかなと思いました。

他はいかがでしょうか。

○**田重田構成員** 田重田です。

八田荘住宅の建替えてというのは府営住宅の建替えなんですよね。集約化ってということで、ちょっとあんまり詳しくなくて聞きかじった話で恐縮なんですけど、泉北ニュータウンでもその住宅を集約化するっていう中で問題っていうのは、団地に住んでいる方たちは階段毎にコミュニティーができていますよね。それが集約されることで、階段で出来ていたコミュニティーが無くなってしまって、孤独死が増えたりとか、そのコミュニティー自体がなくなってしまうという問題があって、だからこそあの地域にこそそういう人が集まれる場所とかコミュニティー拠点みたいな施設があるんじゃないかなというふうに思いました。

○**森田座長** 水賀池の方と連動して何とかするっていうよりは、やっぱりそっちはそっちにあった方がいいですかね。

○**田重田構成員** そうですね。

○**森田座長** 他いかがでしょうか。
どうぞ。

○ **梶原構成員** 今おっしゃられたみたいに、やっぱり地域住民の方が集まれるような場所があったらいいのかなと思うのと、先ほども話が上がっていましたが、若い人とつながれるきっかけになる場所があったらいいのかなと思っていて、もちろん地域住民の方が集まれる場所としても機能するし、例えば V-station の出張所みたいなところがあっても面白いかなと思いました。
以上です。

○**森田座長** なるほど。そうですね。
そういうのもありかもしれませんね。
他、いかがでしょう。

○**静構成員** ちょっと教えて欲しいんですけど。

○**森田座長** どうぞ。

○**静構成員** この駅の向こうに府の集合住宅ができるってことですか。

○**中区長（影山）** 先ほどの説明にもあったのですが、府営住宅の老朽化の問題と耐震化の必要性がありまして、古い住宅の集約化を進めています。それによりまして、広い土地が生まれてきますので、その土地について大阪府と堺市が一緒になって、利用を今検討中ですので、今皆様からいただいている意見

も含めて、まだ可能性が十分ありますので、私ども、先ほどから区が窓口になるんだというようなお話ありますけれども、中区役所がしっかり間を取り持ちながら、出来る、出来ないはまだ見えませんが、しっかりとその辺りはまだ時間もありますので議論を行っていきたいと思っています。

○**静構成員** ということは、府の集合住宅を建てるということじゃないんですね。

○**中区長（影山）** そうです。活用地については、おそらく手放すというような形になってくると思います。

○**静構成員** はい、わかりました。

○**森田座長** 他はどうでしょう。

はいどうぞ。

○**澤本構成員** すいません、少し個人的なことなんですけど、ずいぶん前に、宮園の中にお風呂屋さんがあったんですね。そこに私は時々行ってたんですけど、いつもにぎわっているし、番台の人と地域の人たちとの会話があり子どもも多かったです。

そこには駐車場もありましたので、私は車で行っていました。いつも車がいっぱいになるほど人が通っていられていました。今、この近くにはあまりそういうお風呂屋さんっていうのがないので、できれば銭湯を作っていただいたら、スポーツ施設とかで遊んだ後、帰りにお風呂に入ってできればその周辺に食事でもできるところがあったら1日深井周辺で遊べるなと思っています。

○**森田座長** なるほど、はいありがとうございます。

誰が作るかという問題はちょっと置いて、先ほどサイクリングの時にもシャワー室っていう話があったと思うんですけど、そういうものを一緒に合わせたような施設というご意見かなと思いました。

はい、ありがとうございます。

他いかがでしょうか。

はいどうぞ。

○**中辻構成員** 八田荘住宅ですけども、堺市でも有数の高齢化がすごく進んでいる住宅となっています。

新しく若い方にどんどん入っていただきたいなと思っているんですけども、どうしても昔住んでいた方が応募されているのでしょうか、若い方が少ない関係で、私は民生委員ですけど、定数が堺市で一番少なく、いつも問題視され、なり手不足でずいぶん悩んでいるんですけども、若い人が入っていただけるように工夫していただいて、呼んでいただけたらありがたいなと思うんですけどね。本当に高齢化していますし、小学校の人数もすごく少ないです。

新しい小学校もできてますし、子どもたちも朝の食事を会館でして、歯磨きをそこでして学校へ行っているらしいんです。そういう皆さんの心遣いもいただいていますので、若い方に入っていただくような何か提案が

あったらなあと思います。

駅も近いですね。便利の良いところだと思いますので。

○森田座長 ありがとうございます。

ちなみにその学生さんが出してくださった意見でいうと、今のご意見は多分住むっていう観点だと思うんですけど、そこまで行かなかったとしても、例えば呼び込む施設にありがちかって思うかもしれませんが、ちょっと珍しいカフェとかスイーツは一つの考え方なのかもしれませんね。

そういうものってやっぱり人がやって来ますから。それで住むかと言われるとなかなか難しいんですけど、そこは水賀池公園に新しく作っていただくような施設も一緒に活用していくという話になるのかなと。

やっぱり魅力的な街じゃないとなかなか若年層とか、お子さん連れの世帯が引っ越してこようとか、思わないので、もしそういう人たちを誘引しようと思うとそういうところにも訴求しないと、なかなか難しいのかな。

はい、ありがとうございます。

そろそろ時間ですけども最後に何かこう言っておきたいこと、はい、どうぞ。

○松居構成員

ご意見もいくつかあったと思うんですけども、交流拠点というか集まる場所みたいな場所はすごく大事ないいなあというふうなイメージを持っています。もしかしら水賀池公園中心の話になるかもしれないんですけど、例えば、期待するところという意味になってくるんですけども、どうしても街のいろんな場所であるそこは誰々さんがやっているところとか、ここは誰々の縄張りじゃないですけどそういうところがいろいろあるかなとは思いますが、せっかく新しい場所ができるのであれば、そこはもう特段誰かではなくてまさしくみんなで一緒にやっていくところみたいなイメージをつけて、みんなでそこからまちづくりみたいなことを発信していく拠点みたいなものになっていけばいいなというふうなイメージを持っています。それで言うと、割と何を言ってもいいのであれば、例えばですけども、こういった政策会議をそこでやっちゃうとか、この政策会議の皆さんの中には、自治会活動をやってらっしゃる方もいらっしゃったら、福祉事業者とか商店の方とかもいろいろ集まっていて学生さんもたくさんいます。

いろんな立場の方から意見を出して、何か新しいものを生み出していけるような集まりみたいな印象があるんですけども、そういった方々が集まって、何か色々やってもいいよみたいな、そういった空間になっていけばいいなというような期待を持っています。多分これを区役所が行うとなると現実的な難しさとかもあるかなとは思いますが。

今後、大阪公立大学では、大阪市の森ノ宮に新しいキャンパスを作るみたいな話が出ているんですけども、森ノ宮の近くにいるいわゆる活動家の方々の集まりがあって私はそこに呼ばれています。その集まりは、いわゆる町のプレーヤーといういわゆる市民活動をやってらっしゃる方達で、子育てとかいろんなテーマをやってらっしゃる方々もいますし、近隣の企業の方とか、またこのまちのために何かしたいと思っている方々の交流会みたいなものが定期的に行われていて、こういった政策みたいなきちんとした形で話し合う部分ももちろん大事だと思っているんですけども、あれは誰が始めたのかよくわからないんですけども、ただこのまちのために何かしたいと思っている方たちが定期的集まって話し合いや食事会をするみたいな場があってそこへ

行くと、その街のエネルギーを感じる事が出来て面白いなと思ったりするので、誰がやるかなど問題はあるかと思うんですけど、そういったことも自由にやってもいいよみたいな、そういった空間になっていけばすごくそれこそ街の魅力になって、そういうことをやっているのを周りの人が気がついたら集まってきてみたいなことになっていけばいいなといったことを期待しています。

○森田座長 はい、ありがとうございます。

それでは、議論は尽きないところかと思いますが、そろそろお時間なので締めさせていただきますが、どうしてもこれだけ言っておきたいことはありますか。

よろしいですか。

本日は構成員の皆様から活発なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。事務局におかれましては、構成員の皆様からいただいた様々なご意見を、今後の区政運営に活かしていただきますようお願いいたします。

これで本日の議題は全て終了しました。

本日の議案、あるいは、それ以外でも、何かご意見、ご質問はありますか。

議案内容に対する意見や何かご不明な点がありましたら、遠慮なく事務局へ申し出ていただきたいと思います。

それでは司会にお返ししたいと思います。

4 閉会

○司会（東） 閉会にあたりまして、中区長よりご挨拶を申し上げます。

○中区長（影山） 皆さん、こんな時間まで本当に熱心なご議論ありがとうございました。

本日皆様からいただいたご意見は、全てというぐらい可能性のあるお話だと思っています。

そのため、今後も含めてなんですが今日いただいたご意見、特に、今日のご指摘にもありましたように、幅広い、方向性が定まってない中でのご意見でしたので、今日いただいたご意見をしっかり踏まえて、今後整理させていただいて方向性を絞りながら、当然私どもが窓口となって事業者をはじめ関係者団体との調整の方を図っていきたいと思っています。その中で何が実現できるのか、令和9年度までまだまだお時間がございますので、進捗報告も含めながら皆さんとさらに意見交換を複数回行っていきたく考えています。

また、できれば次回以降は特定の部門に絞って、意見交換というところまで深められたら、私も非常に嬉しいと思っています。

中区政策会議の構成員には、それぞれの部門のスペシャリストが揃っていると思っていますので、皆さんの力をお借りしながら、本日皆さんからいただいたご意見で深井駅周辺が、駅を中心にそれぞれの拠点機能が機能するようまちづくりを進めていきたく思いますので、どうぞ皆さん、これからも引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

○**司会（東）** 以上をもちまして、令和 5 年度第 2 回、堺市中区政策会議を閉会させていただきます。
構成員の皆様におかれましては、会議の開催にあたり、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。